

Home Sweet Home

～フェイト編～
Presented by VA SHIN



FOR ADULT ONLY



旦那...さんっ

テイアナ...
ちゃん!?





す…少し
だけですから

え!
!?



ぐっ

いや…さすがに
これは…っ



だ…旦那…さんっ

は

は

どい

!?



ティ：
ティアナちゃん：
これ以上は…その
マズイって…っ

フェイトが横で
寝てるのに…こんなコト



一回の…の…の…の…

俺みたら…



…の…の…の…



だから…

…



ん…っ

でも…ティアナちゃんも
こんなに苦しんでいる…



—あなた—



ごめん！
ティアナちゃん！

きゃっ





俺…
これ以上は

ごめん…



だ…旦那
さん？



俺には…
フェイトが……

俺はフェイトのことを
一番に考えて
あげないといけない
から……っ



だから……っ

ん？



ん？

……

ふう……



ティアナちゃん

ごめんな

……



なんとか助かった……



もーさっきから大きな声出して……

どうし……



な……

なのはさん？

ティアナが気絶してるのをいいコトにボタンに手をかけ、セクハラをしようとしているの図 (なのは視点)



あ……あの

あせ



少し頭冷やそうか？



はやく(ちゃん) ~~~~~!



い...いや...
これはその...

深い訳が...

ダラ
ダラ

なあ!
ライン?



自業自得です!

ちよ...っ
ライン!?



それで...
本当の目的は?
フェイトちゃんの
旦那さんを試すため
だけじゃないんですよ?

流石にはやても
いたずらだけで
ここまでしないよね

相変わらず
鋭いなあ...二人

.....

いつ頃やったか…
六課の仕事で

海鳴市に行った
ことあったやん？

あの時…ティアナが
家族なんて羨ましく
ない…

一人は慣れてる
からって…
言ったららしいんよ…

スバルから誰にも
言わないでって
言われてたんやけどな？

！

誰かに…家族がいなく
ても一人で生きていける
人はいる

…でも…私は
寂しかった…

だから…ティアナには
意地張らないで…
家族は何も親兄弟だけ
じゃない…

自分でも作れるん
だってこと
知って欲しかったんよ

はやてちゃん…

はやて…

私たちにはそれぞれ
家族がいるから
分かると思うんやけど

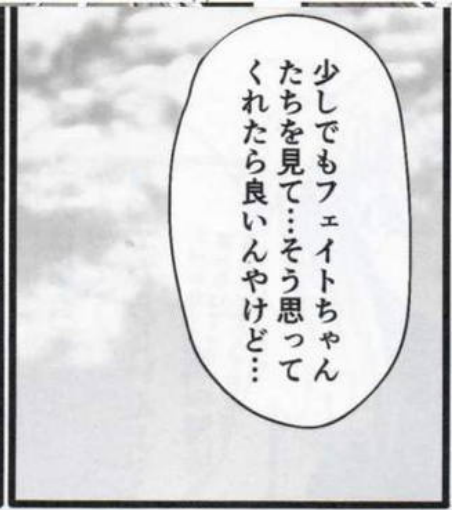
やっぱり…
家族がないのは
友達がいない以上に
寂しいやんか…



強がってた



……



少しでもフェイトちゃんたちを見て…そう思ってくれたら良いんやけど…



俺はフェイトのことを一番に考えてあげないといけないから…っ

昨日旦那さんに言われたフェイトさんへの気持ち



ドア越しに聞いてしまったフェイトさん達の会話…

大ー好き



フェイトさんは結婚してから

今まで以上に幸せそうで…



フェイトさんはリンディさん達とは家族だけど…血がつながってなくて…

そんなフェイトさんを勝手に自分と似ているかと思っていた自分がいて…



六課を通して…たくさん友人が出来て一人でも大丈夫と思うていただけ…

フェイトさんたちの言葉羨ましいと思ってしまう



司令の思惑通りに
なっちゃったね♪
旦那さんにも
断られちゃったし

うっさい

ていうかアンタ...
ワインに舞臺が入ってるの
知ってたでしょ...
知ってた



ティーアっ



だってティーア
かわいいもん!

私が男の子だったら
絶対ほっとかない!



スバル:



私はね!

いつかティーアにも
素敵な男の子が
現れると思うよ!



それまで私が
恋人になって
あげるね♪

私にもいつか...そんな人が

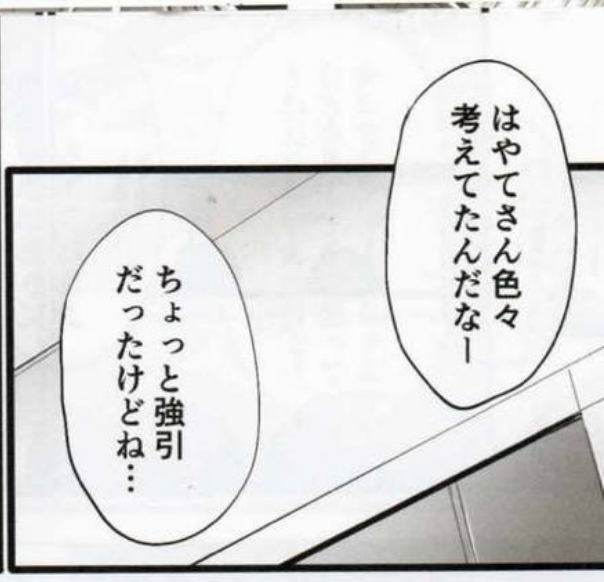
ちょ...
何言ってるん



！

ティアナが君に迫った時どうしようって思っちゃった

でもホント…



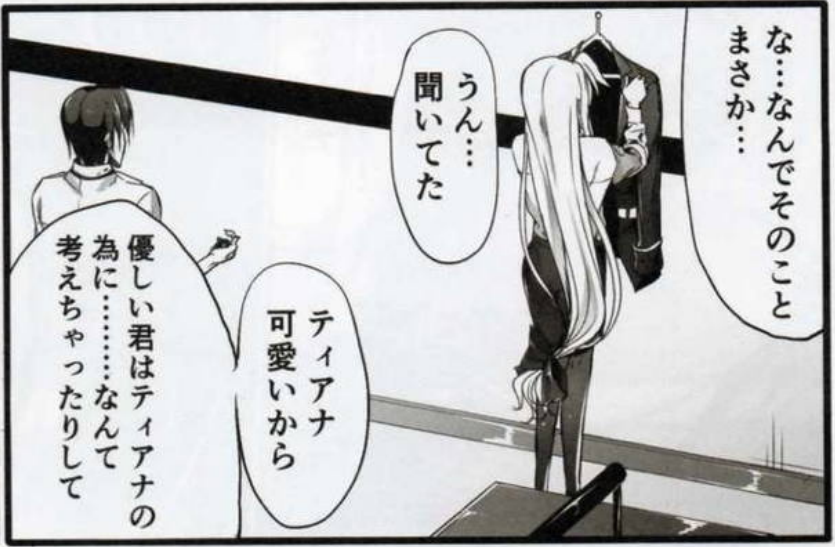
はやくさん色々考えてたんだなー

ちょっと強引だったけどね…



なんか…恥ずかしいな聞かれていたとは…

ううん！私…嬉しかったよ！



な…なんでそのことまさか…

うん…聞いてた

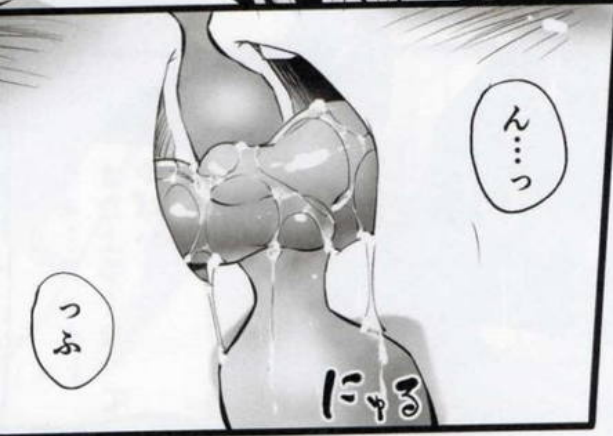
ティアナ可愛いから

優しい君はティアナの為に……なんて考えちゃったりして



君を好きになった時のコト思い出して…

ドキドキしちゃった…





あ...びくって...
気持ちいい?

あむ...

うあ...フエイト
また上手くなって
やばい...っ



君が...どこが弱いとか
気持ちが良いとか
いつも考えてるんだ
から...っ



そ...そんなに
されたら...っ
ストップストップ!



んっ

ちやぽん



あ…っ



そ…そんなに
拵げないで…

俺のしゃぶった
だけで濡れてる…



んんっ

フェイトのえっちな
ところ…
もっと見せて？

くふう

あーっ

いつも仕事してる
机でこんな…



すごくいけない
コトしてる…っ

びく

びく

びく

びく



い…
言わないで…っ

あーっ



フェイトの愛液で
机の上がびしょびしょ
になってるよ？

あ

びく

びく

あ



君の舌...
気持ち... イイっ

出てくる

びしょ

びしょ



え...
どうして...



びた...



ああ...

お風呂の時みたいに
意地悪する...

ま...また

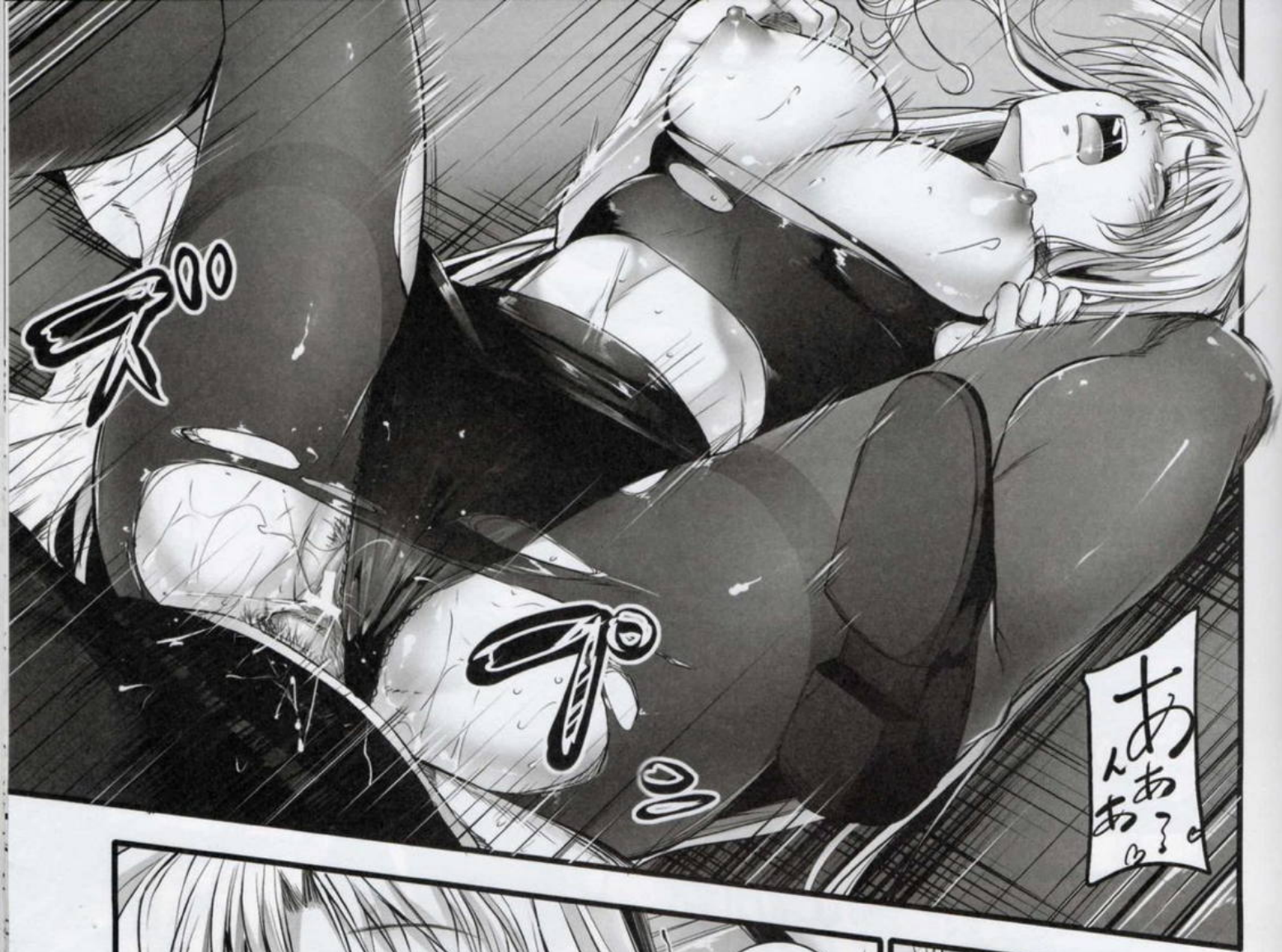


イキそうに
なっちゃった？

どうして
欲しい？

？





あ
あ
あ?



だから…
一緒に気持ちよく
…なる?



フエイト…
いつちやた?



す…少し
でも…
大丈夫…っ



フェイトの中に
えっちする度に
きつくなつて



だって...



私...君のしか
知らないから...

どんどん
いやらしくなる



おあ...





私の中が…
君の形になって



奥…たくさん
突かれると



分かるよ
俺も！

フェイトの中が
俺の形に合わせる
ようにして
吸い付いてくるのがっ

あのね？

うん？

今回の件で…私…
結婚して本当に
良かったなって
改めて思ったの

ティアナにも
少なからず家族の
良さが伝わったのも
あるし…

私は弱いから
きつと君にたくさん
甘えちゃう…

ああ…
そうだな

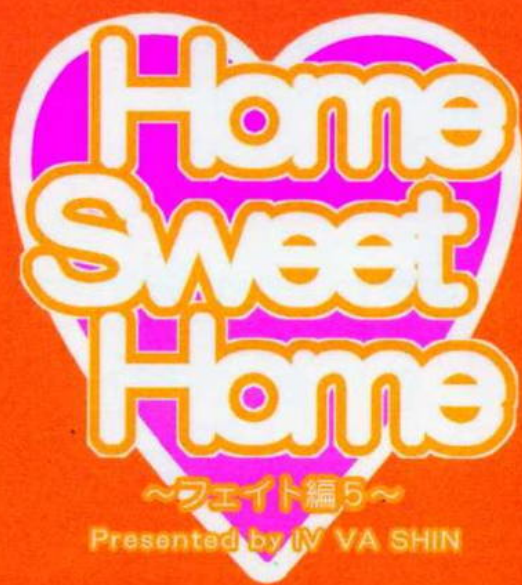
自分を傍で支えて
くれる人がいるって
あたたかいね…

でもね？
精一杯君のコトも
支えるから…



これからも
よろしくねっ





～フェイト編5～

Presented by IV VA SHIN